

# 市民の願い実現へまっしぐら



## 山崎かずひろ市議を 引き続き議会へ

日本共産党

# 貧しさをなくし、みんな笑顔で

■五島・奈良尾で生まれる

1957年(昭和32年)

に五島・奈良尾で生まれた山崎かずひろ市議。家は貧乏で食べていくのがやっと。「大人になったら腹一杯ご飯を食べたい」と毎日思っていました



## 山崎かずひろ市議の 頑張りの原点

■貧乏でも家族みんなで助け合った

9歳の時愛知県に引っ越した山崎さん。トヨタの期間工のお父さんは、朝4時から新聞配達をして会社。山崎さんも弟といっしょに夕刊の配達。家族みんなで助け合っていました。



新聞配達をしていた頃

貧乏をなくしたいと  
日本共産党に入党

1976年高知大学農学部に入學。勉強する中で政治と社会の仕組みをしり、「貧乏をなくしたい」と日本共産党に入党しました。食の問題を学ぶ中で大学を中退して生協運動に参加しました。

■相談あれば現場に直行  
生活相談400件

「困った人のことは自分のことと同じ」と、相談を受けるとすぐさま現場に直行する山崎市議。市議になってから4年間に受けた生活相談は400件。解決するまでとことん頑張ってきました。しかしどうしても解決できないことには悔し涙。解



大好きな平戸の港

決したあとの相談者の「よかった」との笑顔が一番嬉しいと、今日も市内を駆けまわっている山崎かずひろ市議です。



囲碁が大好き